

- (1) 原稿は Word 又は一太郎を用いて執筆し、A4判用紙に印刷する。書式設定はテンプレートに準じること。
- (2) 用語: 数字は算用数字を用い、度量衡の単位および略語は CGS 単位または SI 単位を用いる。数字および英字は 半角文字を用いる。
[例] 度量衡の単位および略語
mol、mmol、N、%、m、cm、mm、 μ m、nm、pm、cm²、kl、dl、l、ml、 μ l、kg、g、mg、 μ g、ng、pg、hr、min、sec、rpm、Hz、Bq、cpm、dpm、ppm、ppb、 $^{\circ}$ C、J、pH、LD50、IU、kDa
外国語: 外国人、外国機関名等は原語のまま第 1 字を大文字で記述する。ただし、国名、地名等は原則としてカタカナで表示する。
動植物: 動植物名は原則として漢字を使用する。ただし、一般的に使用されているもの以外、それ以外のものはカタカナで表示する。
学名: 学名は初出の箇所では必ず二名法による正式名を記す。それ以外の箇所では混乱の起こらない限り属名は、イニシャルのみとしてよい。種名について論ずる場合等はこの限りでない。印刷ではイタリックとし命名者名は普通字体とする。
薬品・機器名: 原則として薬品名は一般名または局方名をカタカナで表示し、機器名等は一般に使われている名称を和文で表示する。
- (3) 第 1 頁(表紙及び和文要約): 表題、著者名、所属研究室名を記載し、内容を端的に表現する略表題(ランニングヘッド)を、和文論文では 28 字以内、英文論文では 40 字以内で記入する。
受理年月日の行は空行とする。欄外に連絡責任者の著者名と所属を記入する。
和文要約(和文論文のみ)の字数は 400 字程度とする。
要約の最下段には 5 語以内で日本語のキーワードを記載する。
- (4) 第 2 頁以降は本文とし、原則として、緒言、材料、方法、結果、考察、謝辞、文献の各項目に区分して記述する。
図、表は英文と和文併記の標題または説明文をつけ、適切どころへ配置する。
引用文献: 本文中では引用箇所に[1、2-5]のように記載する。記述は、著者名、誌名、巻、頁、年次とする。
また、単行本の場合は、著者名、書名、訳者名、編者名、版、頁、発行者、発行地、年次とする。
なお、指定されていないものは慣例により略記する。著者は次の具体例を参考に全員列記する。訳者、編者は 1 名のみ記載し、その他は和文では「他」、英文では「et al」とする。英文論文の文献リストでは、日本語で書かれた文献には(in Japanese)、日本語で英文の要約がある文献には(in Japanese with an English summary)を末尾(年号の後)に記入する。

[引用文献の例]

- [1] Mikuriya, M. and Obara, I.: Stomach contents of Japanese serow, *Capricornis crispus*, from Nikko, central Japan. *J. Mamm. Soc. Japan*, 5, 80-81 (1970) (in Japanese with an English summary)
- [2] Bulla, L.A., Rlodes, R.A, and Julian, G. St: Bacteria as insect pathogen. *Ann. Rev. Microbio*1., 29, 163-190 (1975)
- [3] 松島欽一: 麴菌プロテアーゼの天然性阻害物質に関する研究(第 3 報)卵白中の阻害物質(ovoinhibitor)に就いて. 日本農芸化学会誌, 32, 211-215 (1958)
- [4] 岩堀修一, 松本亮司, 大畑徳輔: 環状剥皮と摘要がポンカン果実の成熟に及ぼす影響. 鹿大農学術報告, No.27, 1-6 (1977)

- [5] Kim, Y.B. and Watson, D.W.: Streptococcal exotoxin. in Wannamaker, L.W. and Matson, J.M. (eds.), Streptococci and streptococcal diseases. p33-50, Academic Press Inc., New York (1972)
- [6] 中山包:発芽生理学. p115-124, 内田老鶴圃, 東京(1960)
- [7] Martin, R.B.:生物物理学, 野田春彦訳. p99-110, 東京化学同人, 東京 (1965)

- (5) 最終頁(英文 Summary)(和文のみ):英文の標題、著者名、所属研究室、300ワード程度の英文 Summary を記載する(投稿要領 8 参照)。Summary の最下段には5語以内の Key words を記載し、連絡責任者の著者名と所属を記載する。
- (6) 英文論文の原稿は和文論文に準じて作成する(投稿要領 8 参照)。構成は第1頁(表紙及び Summary)、第2頁以降を本文とする。フォントはなるべく統一し(図中に使用するフォントはこの限りではない)、タイトル、本文等の各見出しはボールド体とする。本文の見出しには番号をつけない。